**大畑小版学力向上検証改善サイクル**

育てたい資質・能力「自ら学ぶ力」「関わり合う力」「やりぬく力」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ｄ  ＰＡ  Ａ  Ｐ  Ａ  Ｃｅ  Ｄ | **４月**  **５月** | 学力向上検証改善サイクルの作成及び共通理解・取組の方向確認  授業見せ合い週間（年間６回）の実施による授業改善と授業力向上  全国学力・学習状況調査の実施、全職員による採点と傾向及び問題分析  人吉市の学力調査（２～６年）の実施及び傾向・結果分析  活用力向上 | |
| **６月**  **７月**  **８月**  **９月**  **10月**  **11月** | 基礎学力向上  帯学習の充実（音読・漢字・計算）  家庭学習に対する指導と評価  ○ 「復習」を意図したプリント  ○ ドリル形式の計算問題  ○タブレットＰＣの持ち帰りによるデジタルドリル学習  ○ 漢字・音読・作文の練習  朝活動「アオバズクタイム」の充実  月「ドリルタイム」  ※主に速さを目的とした基礎・基本の習熟  火「ドリルタイム(１・２年)、PCタイム(３～６年)  ※主にタブレット操作に慣れ親しむ時間  木「読書・読み聞かせ」  　※主体的に本に親しむ時間  「熊本の学び」アクションプロジェクトに基づく授業改善  ① 支持的風土の醸成　 ② 単元デザインの工夫  ③ 単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）の設定  ④ 子どもの問いを引き出す工夫　　 ⑤ 積極的なコーディネート  ⑥ 学習のまとめと振り返りの充実  ⑦ 授業のＵＤ化と個に応じた指導の充実、ICTの効果的な活用、板書の構造化 | 行事や集会・放送での振り返りと発表の場の設定  家庭学習に対する指導と評価  ○ 自主学習ノートの充実  ○ 家庭学習の手引きを活用した自主学習の促進  朝活動「アオバズクタイム」の充実  金「チャレンジタイム」  ※主に思考力・表現力を高めることを目的とした時間  １１月「学力充実月間」  ※月木金に個別課題・学級課題に応じたアシストシートの実践 |
| **12月**  **１月** | 熊本県学力・学習状況調査実施及び自己採点  学力・学習状況調査問題の結果分析・傾向把握及び学級集団の分析  熊本県学力・学習状況調査結果公表 | |
| **２月**  **３月** | 個別課題・学級課題に応じた復習教材への継続した取組 | |
| 校内研究の視点  「自らの思いや考えを相手に分かりやすくアウトプットできる児童の育成」  ～書くことと対話を関連させた学習づくり、授業づくりを通して～   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 学力充実部の取組 | 日常活動推進部の取組 | 調査研究部の取組 |   ○学校・学級の支持的風土　○人権尊重の精神 | | | |

Ｃ